

2006年7月21日

内閣府防災担当大臣
沓掛哲男様

2006年豪雨災害対策に関する申し入れ

民主党豪雨災害等対策本部
本部長 高木義明
事務局長 大島 敦

今般の豪雨により、すでに日本各地において大きな被害が相ついでいることを受け、民主党では対策本部を設置し、関係県連および地方組織との連携のもと、現地の被害状況や今後の天候状況等の把握に全力をあげるとともに、被害者の救済、復旧支援など、今後の対策に万全を期していく態勢を整えている。

政府においては、被災自治体の救助・住民避難・災害対応、防災の取り組みについて、必要な支援を迅速かつ積極的に行うことを要請する。

また気象庁によれば、これから週末の数日間にわたり、地域によってさらに強い降雨が予想されており、予断を許さない状況にあるとのことである。

政府においては、これまでの豪雨災害での教訓をふまえ、関係各所が密接に連携をとり、適確な災害関係情報を国民、関係自治体に迅速に提供し、未然に被害を防ぐよう努めるとともに、万一の場合にも適切かつ速やかな対応によって、被害を最小限にとどめ、これ以上、尊い人命が失われることが決してないように、万全の態勢のもと全力で取り組むことを強く要請する。

以上